

令和5年9月10日

浜田市議会議長 笹田 卓 様

議員名 大谷 学

## 調査研究活動報告書

下記のとおり調査研究のため視察等を行ったので、その結果を報告します。

### 記

1. 期 間 令和5年8月31日(木) 10:00～16:10
2. 視察内容 視察名；9月定例会議個人一般質問おける質問事項に関する調査  
(テーマ) 自己肯定感等をも高める体験活動の推進について  
I、浜田市小中学校の施設利用状況について  
II、自然体験活動の現状と展望について
3. 視 察 先 ① 江津市松川町太田 610 島根県立少年自然の家 (河本誠二 所長)  
② 大田市山口町山口 1638-12 国立三瓶青少年交流の家 (松浦利幸 次長)
4. 調査経費 3,857円(経費内訳 ガソリン代3,857円)
5. 調査研究活動の概要

(提供を受けた調査資料)

- ① 島根県立少年自然の家
  - ・令和5年度入所予定小学校一覧表(県内市町村立小学校)
  - ・PowerPoint 資料「今こそ 体験活動を！」
  - ・リーフレット 島根県立少年自然の家
  - ・令和5年度島根県立少年自然の家利用の手引き
- ② 国立三瓶青少年交流の家
  - ・平成28年度～令和5年度団体区分別利用状況
  - ・研究報告概要「集団宿泊活動の教育効果」
  - ・国立三瓶青少年交流の家利用ガイドブック2023
  - ・リーフレット「社会を生き抜く力」
  - ・新聞記事写し「三瓶山がまるごと学校」「三瓶山で学校生活満喫」
  - ・活動プログラムのチラシ各種



## (調査内容)

### I、浜田市小中学校の施設利用状況について

- ・ 小規模校である弥栄と岡見の両小学校は隔年利用ではあるが、全ての市内の小学校が1泊2日で自然の家を利用していた。中学校の利用は無かった。
- ・ 中学校は交流の家を利用していたが、利用しているのは浜田三中と三隅中が1泊2日、浜田東中は2泊3日で浜田市内からの利用は3校のみであった。

### II、自然体験活動の現状と展望について

- ・ 新型コロナ5類移行後、利用は回復傾向とのこと
- ・ 社会のデジタル化進行中であるが故に実感をする体験活動の有用性が増しているとのこと
- ・ 体験活動が豊かなほど自己肯定感や自尊感情や規範意識及び学習に対する意欲などとの相関性が証明されているとのこと
- ・ 指導する教師側の体験値も減少傾向にあるので教師対象の研修を推奨しているとのこと

## (所 感)

研究報告概要「集団宿泊活動の教育効果」によると、次の3点が研究によって証明されている。

1. 自然体験や生活体験が「主体的な学び」の基礎となる「自己肯定感」を高める。
2. 集団宿泊活動が「よりよい人間関係を形成」し、「対話的学び」ができる学級づくりに繋がる。
3. 実感を伴った理解が「深い学び」にも繋がる

何となくそうだなと思っていたことが、研究として証明されていることが素晴らしいと感じた。社会が進歩すれば化学技術や歴史など新たな学習項目は次第に増えるだろうが、人としての成長過程や人と人との関わり方は大きく変わらないだろう。変化していく社会を主体的に学ぶためにはリアルな実体験を通して深く理解をしていくことが大切と感じる。リアルな自然体験活動の中で多くを学ぶ生きる力にしていくことが大切と感じる。その意味で学校教育の中に体験活動の意義をきちんと位置づけ適切に実施していくことが重要と改めて感じた。